

# 国際電気通信連合(ITU)の概要

令和6年3月専門機関室

- 電気通信に関する国際連合の専門機関(ITU : International Telecommunication Union)
- 主要任務は、①国際的な周波数の分配、②電気通信の標準化、③途上国に対する電気通信の開発支援
- 本部：スイス・ジュネーブ 193の国・地域が加盟
- 日本は1959年以来、理事国(48カ国)に選出。年に1度開催される理事会では、ITUの予算計画・活動報告等について審議が行われる。
- 日本は米国に次いで上位2番目の分担金拠出国(30単位(9,540,000スイスフラン))
- 旧郵政省出身の内海善雄氏が1999年から2006年まで事務総局長を務めた。
- NTT出身の尾上誠蔵氏が2023年から電気通信標準化局長を務めている。

全権委員会議  
最高意思決定機関  
193加盟国/4年毎に開催

事務総局(GS)

事務総局長(D.ボグダン(米国))  
事務総局次長(T.ラマナウスカス(リトアニア))

理事会  
48理事国  
毎年開催



尾上電気通信標準化局長

## 無線通信部門(ITU-R)

世界無線通信会議  
(WRC)

無線通信総会  
(RA)

3~4年毎に開催

無線通信規則委員会  
(RRB)  
12人の非常勤委員

無線通信研究委員会  
(SG)

無線通信局(BR)

無線通信局長  
(M.マニエウィッチ(ウルグアイ))

## 電気通信標準化部門(ITU-T)

世界電気通信標準化総会  
(WTSA)

4年毎に開催

電気通信標準化研究委員会  
(SG)

電気通信標準化局(TSB)

電気通信標準化局長  
(尾上誠蔵(日本))

## 電気通信開発部門(ITU-D)

世界電気通信開発会議  
(WTDC)

4年毎に開催

電気通信開発研究委員会  
(SG)

電気通信開発局(BDT)

電気通信開発局長  
(C.ザバザバ(ジンバブエ))